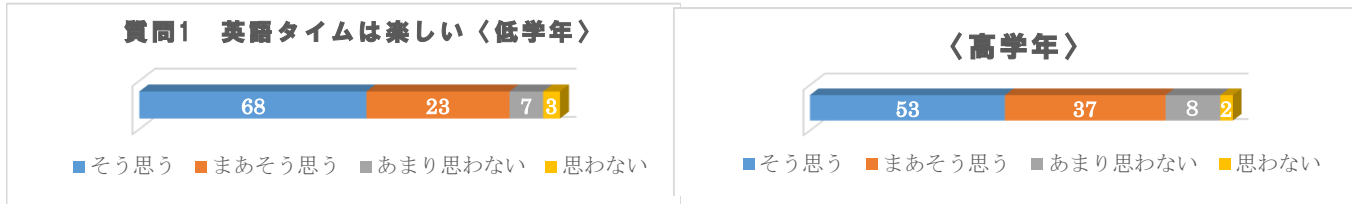


## 令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

### 1 自己評価結果

児童にアンケートを行ったところ、質問1「英語活動・外国語の学習は楽しいですか」という質問に対し、低学年で「楽しい」、「とても楽しい」と回答した児童は、全体の91%、高学年では90%でした。低学年から続けてきた英語活動が、高学年になっても学習に生かされ、外国語科の学習に対する意欲の継続につながっていると考えられます。

質問1「英語活動や外国語の学習は楽しいですか」



### 2 学校関係者評価結果

保護者にアンケートを取ったところ、質問2「子供は、英語活動や外国語科の学習を通して、外国語に親しみ、楽しみながら学習に取り組んでいるか」という問いに対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と答えた割合は全体の86%でした。普段の生活の中で覚えた英単語を読んだり、簡単な英会話を使ったりする姿が多くみられることが保護者の声として挙げられています。

また、学校関係者の皆様には、低学年の児童が取り組んでいる英語活動の様子から、「楽しんで英語を身につけている様子がよく分かる」との評価をいただきました。

質問2「子供は、英語活動や外国語科の学習を通して、外国語に親しみ、楽しみながら学習に取り組んでいるか」



### 3 まとめ

資料1から分かるように、英語活動OK-Englishの継続した取組により、児童は英語に親しみをもっていることが分かります。低学年からの活動を基に、3年生から始まる外国語活動への抵抗が緩和され、意欲が増していると考えられます。さらに、5年生から始まる外国語科の学習への意欲を高めることにもつながっていることが分かります。

また資料2から、子供たちは、英語活動で行ったことを生活の中で活用したり、活動の様子を家族に話したりしていることが分かります。これらのことから、生活の中で英語を十分に活用できていると考えられます。

今後も、楽しんで行える英語活動を継続することで、子供たちの将来にわたって生きて働く言語能力を育んでいきたいと考えます。